

2012年7月14日開催

日本ツメガエル研究集会／第6回XCIJ首都圏支部会 合同研究集会の報告

XCIJ-MA 運営委員

2012年7月31日

日本ツメガエル研究集会(XCIJ-ALL)および総会と、第6回XCIJ首都圏支部会(XCIJ-MA)研究集会とが急遽合同で開催することになり、7月14日(土)に立教大学池袋キャンパス(15号館マキムホール、3階 M302教室)に、北海道から沖縄までの全国23施設から71名(内、学生34名)が集まりました。



当日は、午後1時から日本ツメガエル研究集会総会と、これに引き続き午後2時過ぎから6時まで、XCIJ・ALL/MA 研究集会を開催しました。PIから5演題、PD・学生から3演題、さらに今回は*Xenopus* ゲノムプロジェクトの展開とリンクする「テクニカルチップ」と、高大連携を題材とした「教育・実習」に関する話題提供があり、合わせて10演題の発表となりました(別紙プログラム参照)。それぞれの演題の扱う領域は広く、当該領域間の専門的な質疑だけではなく、ツメガエルという生物を共通基盤として、視野広く意欲的な議論が活発に行われました。また、総会における*Xenopus laevis* ゲノムプロジェクト関連報告がもたらした将来展開への期待感の余韻を受けつつ、先行する*Xenopus tropicalis* の遺伝子機能解析で実施されているTALEN法が紹介され(広島大)、技術情報を共有する機会となりました。

発表終了後、懇親会開会までの合間に、理学部4号館にある木下研究室のラボツアーを行いました。XCIJ-MA研究集会では、毎回、会場となった施設の研究現場見学が恒例となっています。特に若い学生にとっては、施設によって様々なスタイルの違いがあることを知る好企画です。XCIJ-MA研究集会の規模であるからこそ実現する楽しみです。懇親会では浅島先生をはじめ、多くの仲間が熱く語り合い

ました。これに飽きたらず、二次会は大学傍の居酒屋に老若男女がぎゅうぎゅう詰めとなって、深夜まで果てしなく交流を続けました。



会場、懇親会、二次会の全てを世話役として仕切って下さった立教大学木下研究室の皆様には大変お世話になりました。快適で、素晴らしい一日を過ごさせて頂きました。心より感謝申し上げます。懇親会では平良先生より次回の開催会場候補のアナウンスがありましたが、正式に決定次第、皆様にお知らせする予定です。また、研究集会およびXCIJ-MA加入の詳細につきましては伊藤弓弦運営委員(産総研:yuzu-itou@aist.go.jp)までお問い合わせ下さい。

以上